

令和8年(2026年)7月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2026年7月 数 量 (トン)	2026年7月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人参	北海道産、青森県産中心の入荷でした。 各産地豊作で、数量はかなり増加、平均単価はかなり安く推移しました。	592	154	134%	67%
2		キャベツ	群馬県(嬬恋)産を中心の入荷でした。数量はやや減少、平均単価は横ばいでした。	594	91	96%	102%
3		トマト	北海道産、青森県産・福島産中心の入荷でした。数量は増加、平均単価はやや高く推移しました。	460	439	111%	106%
4		なす	群馬産中心の入荷でした。数量はやや減少、平均単価は高く推移しました。	126	471	83%	117%
5		たまねぎ	兵庫県産・佐賀県産中心の入荷でした。数量はやや減少、平均単価はかなり高く推移しました。	370	173	91%	132%
6	果 実	西瓜	一部の産地で育成不良等が発生した。数量はやや減少、平均単価は安く推移しました。	733	239	92%	82%
7		メロン	山形県産・青森県産中心に入荷したが、絶対量が少なく、数量はかなり減少、平均単価はやや安く推移しました。	111	482	71%	90%
8		桃	山梨県産・福島県産・山形県産中心の入荷。数量はかなり増加、平均単価は安く推移しました。	231	772	128%	82%

【増減基準】

- ①並み、横ばい：(＋)0～2%
- ②やや増加(減少)：(＋)3～10%
- ③増加(減少)：(＋)11～20%
- ④かなり増加(減少)：(＋)21～50%
- ⑤大幅に増加(減少)：(＋)51%以上